

リスク分析ってな〜に？

1-1 リスク分析には3つの柱があります

リスク分析のしくみには3つの柱があります。1番目は、食べても安全かどうか科学的に調べて決める「リスク評価」です。2番目は、このリスク評価をもとに、食べても安全なようにルールを決めて、みんなで守るようにする「リスク管理」です。そして3番目の柱が、この2つについて、食べ物を作る人々、売る人、買って食べる人たちや役所が、それぞれの立場から意見を出して話し合う「リスクコミュニケーション」です。「リスク分析」ではこの3つのすべてがとても大切です。

1-2 調べる人とルールを作る人は別々です

たとえば、安全な家を作るためには、設計する人、実際に建てる人、電気・ガス・水道工事をする人など、専門家の協力が必要です。同じように、リスク評価とリスク管理も、それぞれ専門的な知識や経験を持つ人々が別々に行います。そして調べたり、決めたりする時に、リスクコミュニケーションによって、みんなが理解し、納得できるように話し合うのです。このようにしてリスク分析は行われています。

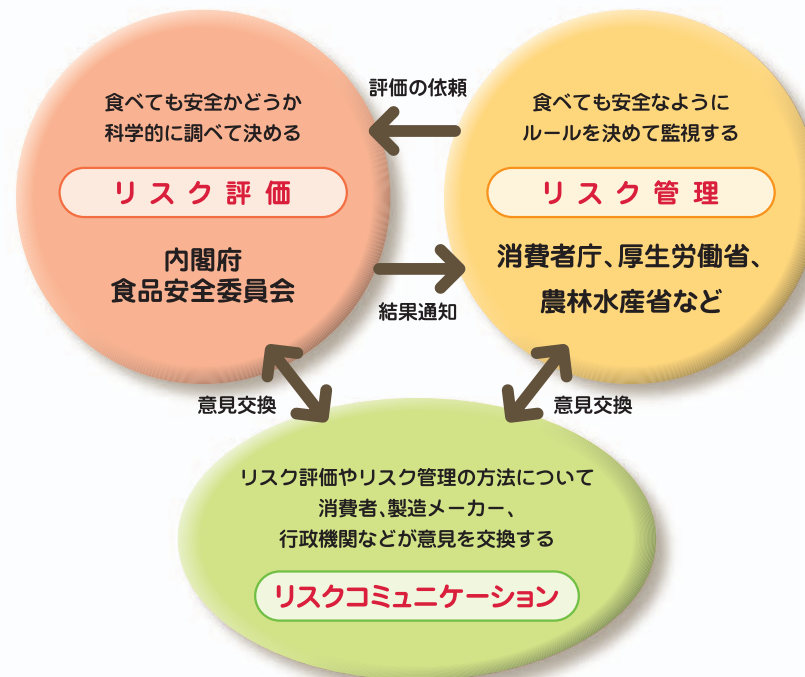
「3つの柱のどれもが、リスク分析には同じように重要なんだよ」



「3つの柱の柱だけにかたよりにすぎないように、3つの柱が支え合うしくみになっているんですよ」

リスク分析の3つの柱

食品の安全を守る仕組み



「食べ物のリスク評価とリスク管理は違う組織で行って、独立性をもたせているのが日本のしくみなんだ」



「もちろん、専門家じゃない人の不安や心配も、リスクコミュニケーションで話し合ってリスク分析にかかっていると、もっとよくなるよ」